

遊びながら 学びながら
ときめき発見！

*** 本号のラインナップ ***

まちの遊学人

春日部リズムクラブ
◆黒澤 ちよ子 さん

街角の健康体操
◆二國 昭平 さん

サークル紹介

楽しく「居合」をやっています
◆春日部居合同好会

四季の草花をアートに
◆さくら草押花クラブ

生涯学習事業レポート

◆春の散策～いにしえウォーク～
(武里地区・武里大枝公民館)

◆初めて出会うコンチェルト
～ピアノとエレクトーンで楽しむ秋の
コンサート～
(庄和地区公民館)

春日部市生涯学習人材情報登録って？

春日部市生涯学習人材情報
登録ってどんな制度なの？



教えてほしい人と教えてあ
げられる人の橋渡しをする
しくみなんですよ



教えることができる人、
大募集中！

資格の有無などは問いません。
詳しくは、市公式ホームページで。



令和4年10月発行

令和4年度版

春日部市生涯学習人材情報登録者一覧

春日部市では、市民の学習活動を支援するため、
講座・スポーツ等、さまざまな分野で指導者・ボランティアとして
ご協力いただける方を登録し、市民の皆様にご紹介しています。

サークル活動の指導者や講師をお探しの方は、ぜひご利用ください！
登録者の連絡先については、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
春日部市教育委員会 社会教育課 生涯学習推進担当
〒344-0062 春日部市和壁東3-2-15
(春日部市教育センター3階 視聴覚センター内)
TEL: 048-763-2425 FAX: 048-763-2219
メールアドレス: s-kyoiku@city.kasukabe.lg.jp
※視聴覚センターの休所日は月曜日・祝日です。



まちの遊学人

春日部リズムムクラブ

黒澤 ちよ子さん（豊春地区）



前列中央が黒澤さん

豊春地区で活動している黒澤ちよ子さんを紹介します。黒澤さんは、春日部市の小学校の教員の間から、豊春小学校で、リズムダンスやリズムなわとびの指導を長年続けています。退職を機に、公民館でもリズム体操教室を始め、現在は春日部リズムムクラブの会長を務めています。

黒澤さん達は、毎週火曜日に豊春第二公民館で、水曜日と金曜日は豊春地区公民館で、土曜日は豊春小学校で、リズム体操、ダンスの普及のために約40年間活動をしています。

リズム体操の活動は、無理をしないう、友達とくればない、「できないう」とあきらめないをモットーに楽しく体力づくりを続けており、年に一度、市民文化会館に会員一同がそろって定期発表会を開催しています。

同じ運動でも、体力づくりを目的

とするフィットネスクラブとは異なり、公民館では仲間づくりを大切に、一人では続かなくても公民館に行けば友達に会えるから行く、楽しいおしゃべりがまわっているから行く、公民館が参加者の居場所にもなっています。

豊春地区公民館での活動を見学させてもらいましたが、20人のメンバーが、おそろいのトレーニンングウェアを着て音楽のリズムに合わせて活動していました。

会員の方に伺ったところ、持久力がつき、体力がつき、筋力がついた、これからも続けていきたい、というお話をしていました。

会長の黒澤さんも「約40年間続けていますが、市内の多くの人達にリズム体操の良さを知ってもらい、これから普及に力を入れていきたい」と話していました。

皆さんもぜひ一緒に活動してみませんか。



練習風景

街角の健康体操

二國 昭平さん（武里地区）



平成23年の8月、発案者の二國さんによって「街角の健康体操」が産声を上げました。朝6時30分、みどり住宅第一公園に自前のラジオカセから「新しい朝が来た希望の朝だ…」とNHKのラジオ体操のメロディーが流れます。ラジオ体操第一、ラジオ体操第二で10分間、つづけて「みんなの体操」を行います。

天候さえよければ、毎日開催しています。「ここから散歩に出かける人、早起きして散歩をしてからやってくる人、それぞれがその日の都合で集まってきました。参加者は、男女20名、30名を数えます。受付も名簿もありません。

夏は朝日が早くから昇り、真剣に体操に取り組むと汗びっしょりです。でも、最高に気持ちがいいです。また、自治会の夏休み子どもラジオ体操と合同で8月に2週間行い、参加する子どもは25人程になります。この期間は非常に賑やかで、皆勤賞の

子には素晴らしいプレゼントがあります。いつも参加されている年配者からは、自分の孫みたいな存在で、元気をもらえると大好評です。

また、元日の朝には皆でこ来光に、1年の安全を祈願することが恒例となっています。

「継続は力なり」毎日の「街角の健康体操」を通して、「コミュニケーション」をさらに深め、体力の維持、増進を図り健康寿命のアップに努めています。

最近参加された90歳を超えた方から、「この体操に参加して肩、腰、肘、膝の関節が痛くなくなった。食欲も出てきた」と、嬉しい言葉が聞けました。

二國さんのように、街角で地道に健康を支える活動をされている方には「感謝」しかありません。



夏休み合同ラジオ体操

サークル紹介

楽しく「居合」をやっています

春日部居合同好会(幸松地区)



春日部居合同好会の皆さん

居合道とは、日本刀(一般に初級〜中級者は模擬刀を使用)を腰に差した状態から刀を抜き、仮想敵に斬撃して納刀するまでの技を現代武道化したものです。

「春日部居合同好会」は、居合道を通して健康増進と会員の親睦を深めることを目的として、昭和61年に発足しました。会員の年齢層は、中高生から80歳代まで幅広く、20数名の会員が年に数回ある試合や昇段審査に向けて、楽しみながら稽古に励んでいます。当会は「同好会」ですので、段位や年齢の上下の隔たりがなく、気楽に参加できるのも当会の特徴だと思います。

また、居合道は剣道と異なり、打ち合いはなく、激しい運動でもないの、男女の区別なく子供から高齢者まで、体力と技量に応じて稽古が

できるので、武道未経験の方や70歳以上で始められる方も多くいます。

居合の良いところは、それほどの筋力や体力がなくても充分にできることです。その証拠に、居合の試合では、剣道の高段位を有する者が中高生に負けることも日常茶飯事です。また、女性が行う居合は力みがなく、しなやかで男性よりも居合に向いているようにも思います。

近年は、新型コロナウイルスの影響で昇段祝賀会や暑気払い等の行事は控えています。感染リスクの少ない「試し斬り」等のイベントは継続しています。実際に巻き藁を斬ってみて自分の居合が正しいか(斬れる居合をしているか)を確認する等、楽しく活動しています。

稽古日は週4日(月、木、土、日)ですが、平日のみの方や休日のみの方等、会員各人の都合により自由に参加しています。幸松地区公民館では、毎週日曜日の17時〜19時に活動していますので、ぜひ見学に来てください。



見事な太刀さばき

四季の草花をアートに

サクラ草押し花クラブ(豊野地区)



制作風景

サクラ草押し花クラブは、11年前に10名余で発足したクラブで、毎月1度指導者(大石昭子)宅で創作活動をしています。現在、クラブ員は4名ですが、和やかに活動しています。

題材は、各自の庭に咲いた四季折々の草花だったり、足りない分は花屋さんで買い求めています。

主な作品は、春の草花を題材にした「花車」、水彩画さながらの「深緑の風景」、雪をモチーフにして制作した「冬の風景」等です。出来上がった作品は、豊野地区の文化祭(豊野地区文化連盟主催)や春日部市文化連合会主催の文化の祭典に出品しています。

毎年、年末には自治会の集会所で地域の人達に「千支のカレンダー作り」を指導しています。11月25日の豊野地区公民館で開催した「押し花カレンダー作り」では、会員が指導

者になり、13名の受講者が参加しました。

約90分の工程でしたが、お手本を参考に受講者それぞれの個性溢れる作品が出揃いました。制作の最後に圧縮シートを掛けて完成となります。また当日は、自分で作った作品のほか、参加賞として「押し花の葉」を貰い、盛況のうちに「千支のカレンダー作り」は終了しました。

春日部市文化連合会主催の文化の祭典では、「体験コーナー」を設けており、指導者の大石さんは「11年前にまだ幼稚園児だった子が、大きく成長して今年も参加してくれたことがとても嬉しかったです」と感激した様子で話をしていました。

サクラ草押し花クラブでは、押し花の他にステンドグラス風の創作も試んでいます。

興味のある方は、是非入会をお待ちしています。

連絡先：豊野地区公民館

048-735-0009



卯年のカレンダー(見本)

春の散策

くいにしえウォーク

武里地区・武里大枝公民館



八幡神社表参道

五月晴れのもと「春の散策くいにしえウォーク」の企画に20名あまりの市民が集いました。

春日部駅前前広場から春日部市の情報発信館「ぶらっとかすかべ」へ向かいました。ここでは、市内の観光情報や特産品などの情報を発信しています。近くには古利根川や個性的な公園橋があり、観光気分が湧きあがってきました。公園橋は川の上にかかっており、ベンチや草花など、市街地からは別世界のような感じがします。

丸八酒店の蔵つくりと木造二階建て商家の店は、遠い昔にタイムスリップしていくようです。

永嶋庄兵衛商店は、米問屋そのままの姿で今日までとっしりと構えています。火事・泥棒払いの鍾馭像が屋根瓦の上でにらみを利かせています。

4軒目の浜島家住宅土蔵を見学す

ると、かつては古利根川舟運が現代の鉄道・トラックに代わって大量の物流を支え、人々の生活を豊かにしていたことに興味を湧きました。

最勝院は粕壁きつての古刹であり、明治時代には、門前から北千住まで千住馬車鉄道が走り、境内では相撲大会、見世物興行が行われ、粕壁のにぎわいの中心でした。お寺の多いこの地は、「寺町」と呼ばれ、大きな吉見神仏具店も並んでいます。

十文字橋は、「渡る人は十文払わなければならぬ」という言い伝えによる名前です。古隅田川の名前とともに、くいにしえの往時を偲ぶものがあります。

八幡神社は古利根川の川畔砂丘の上立ち、今も樹木の生い茂る森の中に荘厳さがあります。歴史の重みに触れ、森林浴ができる貴重な神社です。

お寺、神社をお参りして古き春日部市の歴史に触れるひとときでした。都鳥の碑、加藤楸邨の句碑、しばし、これらの文学の香りに接し、明るく元気に生きるエネルギーを得ました。



加藤楸邨の句碑を囲んで

初めて出会ったコンチエルト

ピアノとエレクトーンで

楽しむ秋のコンサート

庄和地区公民館



演奏するピアニスタース

2週連続きの週末台風到来、開催できず心配でしたが、9月25日(日)開催日の朝は見事な秋晴れ。入場時間前のロビーは待ちかねたお客様であふれ、13時の開場を10分早めました。

ゲストは30年ほど前に5年間庄和地区にお住まいだった松丸弘子さん(エレクトーンをベースとした作曲・演奏・指導・音楽制作者)と大学卒業後6年間のウィーン留学から帰国後、庄和地区にお住いのピアニスト、神足麻由さんです。

第1部はピアニスタースの演奏のコンチエルト5曲。松丸弘子さん編曲のコンチエルト集の中から、耳に馴染みのあるクラシックを中心に選曲しました。

第2部は松丸弘子さんのエレクトーンソロ。「ジューピター」他オリジナル曲、この日のために書き下ろした曲など計7曲です。エレクトーンに対する思いや、編曲する時の苦労話など織り交ぜながらの45分間でした。松丸さんは、庄和地区にいる頃に作曲を始めて、全日本エレクトーン指導者協会(jet)主催のアレンジ&リストコンペティションでは、グランプリなど数々の賞を受賞されています。

第3部は神足麻由さんの若さあふれるエネルギー溢るピアノソロ。「英雄ホロネズ」など3曲弾かれました。国内外のコンクールで数多くの受賞歴のある忙しいピアニストの神足さんに、無理を承知で出演依頼しましたが、「地元のためなら」と快く引き受けてくださいました。圧巻!!の演奏でした。

生涯学習市民推進員(地区別)(※は編集委員)

- 【粕壁】 市川実、藤田葆雄、泉 栄
- 【内牧】 三輪勝、高橋昌子
- 【豊春】 杉山充男、津布久常之、早坂隆*
- 【武里】 富岡一雄*、白川武文*、水島芳子*
- 【幸松】 額井美智子、赤堀良孝
- 【豊野】 本田幸子*、高澤敏雄
- 【武里南】 山田農久、佐野哲郎、角田範夫、八重樫通代
- 【庄和】 沖田隆一、栗岡一矛、内山厚一、清水希貞*